

平成 27 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 27 年 8 月 20 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所  
 本社所在都道府県 東京都  
 本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階  
 代表者 役職名 代表取締役社長 有賀 章  
 問い合わせ先責任者 役職名 取締役総務部次長 村井 則道 TEL (03) 5443-2991

1. 平成 27 年 12 月期第 2 四半期の業績（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。

2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
27 年第 2 四半期	41,446	(△25.0)	△2,349	(-)	△2,339	(-)
26 年第 2 四半期	55,279	(12.4)	4,148	(-)	4,181	(-)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
27 年第 2 四半期	△2,968	(-)	△1,702.93	-	△3.5	△2.5	△5.6
26 年第 2 四半期	3,517	(-)	1,736.96	-	3.3	3.6	7.5

(注) 1. 期中平均発行済株式数 27 年第 2 四半期 2,025 株 26 年第 2 四半期 2,025 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円	千円	千円	千円	%	円 銭
27 年第 2 四半期	78,118	69,076	69,076	69,076	88.4	48,748.33
26 年第 2 四半期	113,753	104,610	104,610	104,610	91.9	51,659.20

(注) 期末発行済株式数 27 年第 2 四半期 2,025 株 26 年第 2 四半期 2,025 株

(自己株式 608 株を含みます)

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
27年第2四半期	△3,867	0	△30,910	61,504
26年第2四半期	5,450	△1,688	575	90,107

## 2. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年 間
	千円	千円	千円					
通 期	92,000	3,900	2,100	—	—	—	—	—

（参考）1株当たり予想当期純利益金額（通期） 1,329円96銭

（注）1株当たり予想当期純利益金額（通期）は、第2四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

平成 27 年 8 月 20 日

## 第 25 期 第 2 四半期報告書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所  
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.  
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章  
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号  
 芝サンエスワカマツビル 10 階  
 電 話 番 号 03-5443-2991  
 連 絡 者 取締役総務部次長 村井 則道

## I 四半期の業績

## (1) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 25 期 第 1 四半期 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	第 25 期 第 2 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日
	売 上 高	24,197	17,249	41,446
売 上 原 価	15,661	15,466	31,122	37,378
売 上 総 利 益	8,535	1,782	10,324	17,901
販売費及び一般管理費	6,457	6,209	12,673	13,753
営業利益又は損失(△)	2,078	△4,427	△2,349	4,148
営 業 外 収 益	9	0	9	32
経常利益又は損失(△)	2,087	△4,427	△2,339	4,181
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	2,087	△4,427	△2,339	4,181
法人税・住民税及び事業税	44	43	88	88
法 人 税 調 整 額	540	0	540	575
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	1,502	△4,470	△2,968	3,517

項 目	第 25 期 第 1 四半期 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	第 25 期 第 2 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 6 月 30 日
	期 中 平 均 株 式 数	2,025 株	1,464 株	1,743 株
1 株 当 た り 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益 又 は 純 損 失 ( △ )	742 円 08 銭	△3,053 円 91 銭	△1,702 円 93 銭	1,736 円 96 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	－円－銭	－円－銭	－円－銭	－円－銭

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

## (2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期別	第25期 第1四半期 自平成27年1月1日 至平成27年3月31日	第25期 第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	当期累計 自平成27年1月1日 至平成27年6月30日	前年同期累計 自平成26年1月1日 至平成26年6月30日
調査・出版事業	24,197	17,249	41,446	55,279
合計	24,197	17,249	41,446	55,279

## (3) 貸借対照表

(単位：千円)

科目 \ 期別	第24期末 (平成26年12月31日現在)	第25期 第1四半期末 (平成27年3月31日現在)	第25期 第2四半期末 (平成27年6月30日現在)
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	96,283	89,143	61,504
2. 売掛金	7,914	13,524	9,860
3. 製品	93	—	—
4. 貯蔵品	87	133	110
5. 前払費用	1,468	1,501	1,138
6. 仮払税金	—	1	1
7. 短期繰延税金資産	540	—	—
8. 貸倒引当金	△47	△47	△47
9. その他	12	—	—
流動資産合計	101,353	104,257	72,568
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 工具器具備品	2,642	2,549	2,211
有形固定資産合計	2,642	2,549	2,211
2. 無形固定資産			
(1) 商標権	424	424	424
無形固定資産合計	424	424	424
3. 投資その他の資産			
(1) 敷金・保証金	2,379	2,379	2,379
(2) 長期繰延税金資産	534	534	534
投資その他の資産合計	2,914	2,914	2,914
固定資産合計	5,980	5,888	5,550
資産合計	112,333	110,145	78,118

科目	期別	第24期末	第25期 第1四半期末	第25期 第2四半期末
		(平成26年12月31日現在)	(平成27年3月31日現在)	(平成27年6月30日現在)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金		364	—	—
2. 未払金		256	260	245
3. 未払費用		2,667	1,713	1,712
4. 未払法人税等		179	44	88
5. 未払消費税等		3,595	1,535	1,208
6. 預り金		2,315	1,116	4,367
7. 未払配当金		0	0	0
8. 賞与引当金		—	1,017	1,420
流動負債合計		9,378	5,687	9,042
負債合計		9,378	5,687	9,042
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金		53,000	53,000	53,000
2. 資本剰余金 資本準備金		632	632	632
資本剰余金合計		632	632	632
3. 利益剰余金				
(1) 利益準備金		12,618	12,618	12,618
(2) その他利益剰余金 別途積立金		15,000	15,000	15,000
繰越利益剰余金		21,705	23,208	18,737
利益剰余金合計		49,323	50,826	46,355
自己株式		—	—	△30,910
株主資本合計		102,955	104,458	69,076
純資産合計		102,955	104,458	69,076
負債純資産合計		112,333	110,145	78,118

項目	期別	第24期末	第25期 第1四半期末	第25期 第2四半期末
		(平成26年12月31日現在)	(平成27年3月31日現在)	(平成27年6月30日現在)
発行済株式総数		2,025株	2,025株	2,025株
1株当たり純資産額		49,922円42銭	51,490円76銭	48,748円33銭

(注) 第25期第2四半期末株式総数は、自社株式608を含みます。

## (4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				自己株式	株 主 資 本 合 計
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	その他利益剰余金		利 益 剰 余 金 合 計		
				別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
平成 27 年 1 月 1 日残高	53,000	632	12,618	15,000	21,705	49,323	—	102,955
第 1 四半期中の変動額								
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	1,502	1,502	—	1,502
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	1,502	1,502	—	1,502
平成 27 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,208	50,826	—	104,458
第 2 四半期中の変動額								
第 2 四半期純損失 (△)	—	—	—	—	△4,470	△4,470	—	△4,470
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△30,910	△30,910
第 2 四半期中変動額合計	—	—	—	—	△4,470	△4,470	△30,910	△35,380
平成 27 年 6 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	18,737	33,737	△30,910	69,076

## (5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- |   |
|---|
| 1. 固定資産の減価償却の方法<br>各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。<br>2. 消費税等の会計処理<br>仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。<br>3. 金額の端数処理<br>千円未満の金額は切り捨てて表示しております。 |
|---|

なお、当第 2 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

## (6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## II 第25期 第2四半期（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）の業績の概況

2015年4-6月の国内景気はグローバル製造業者を先頭に企業業績が好調でしたが、2四半期増勢となっていたGDPは一転、実質0.4%減と歯止めがかかりました。食料品などの値上げから個人消費が低迷したことと、中国を中心とした海外経済の減速から輸出のペースが落ちた為とされていますが、GDPは昨年から一進一退を繰り返しており、本格的な地力回復までには至っていないと考えられます。

一方、当社のドメインとするICT分野におきましては、金融分野の新規サービス対応のシステム開発案件や、製造業分野での今まで延伸していたシステムの更改需要、更に両分野におけるグローバル競争に向けたシステム基盤強化案件などがあり、当社試算で前年同期比1.9%増の市場動向となります。

しかし、大型システム案件が多く、きめ細かなニーズと競合状況を調査するマーケティング予算の増加には結びつきませんでした。弊社の第2四半期（4-6月）はほぼ予算通りではありましたが、予定以外の思いがけない案件はなく、前年同期比28.1%減と採算ラインを割り込みました。

これを事業別に見ますと、自社企画資料につきましても競合先とのバッティングがあり、29.8%減と厳しい状況でした。制作タイトル数は前年同期よりも増えていますが、ヒット商品が少なくなっています。

依頼調査につきましても昨年第2四半期の141%増の反動があり、28.1%減となりましたが、2013年4-6月期と比べれば79.9%増と増えています。

これらの結果、当第2四半期の総売上高につきましても、17,249千円（対前年同期比28.1%減）、利益につきましても、営業損失4,427千円（前年同期営業利益377千円）、経常損失4,427千円（前年同期経常利益386千円）、四半期純損失4,470千円（前年同期純利益341千円）となりました。

大幅な損失は28.1%の売上減少が最大要因です。ここまで大幅減少すると、代表取締役社長の年俸カット継続や従業員減少による給与総額減だけでは対応できませんでした。

## III 第25期通期の売上高及び利益の予測について

第25期通期の売上高及び利益の予測につきましては、売上高は92,000千円（前年比11.8%減）と第1四半期決算で減額修正した通りです。利益につきましては経常利益3,900千円（前年比横ばい）、当期純利益2,100千円（前年比12.8%増）と第1四半期決算で増額修正した通りです。

## IV 資金及び借入金の状況

### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第25期 第1四半期	第25期 第2四半期
		〔自平成27年1月1日 至平成27年3月31日〕	〔自平成27年4月1日 至平成27年6月30日〕
現金及び預金の増減額		△7,139	△27,638
現金及び預金の四半期首残高		96,283	89,143
現金及び預金の四半期末残高		89,143	61,504

(主な増減理由)

売上債権3,664千円減少による増加、預り金3,250千円増加による増加、賞与引当金の403千円増加による増加、自己株式取得30,910千円減少による減少等が主な要因です。

### (2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

### (3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

## V その他

該当事項はありません。